

## 第4回庄原市長期総合計画審議会専門部会(総務財政部会) 会議録(摘録)

1. 開催日時 平成27年10月19日(月) 10:00～
2. 開催場所 庄原市役所本庁舎5階 第1委員会室
3. 出席委員 秋山 愿 委員 ・ 積山 豊通 委員 ・ 藤谷 善久 委員  
小林 護 委員 ・ 早井 千波 委員 ・ 山岡 芳晴 委員  
手島 亜希 委員
4. 欠席委員 堀江 勝 委員
5. 出席職員 企画課長 兼森 博夫  
企画課企画調整係長 加藤 武徳  
企画課企画調整係 本郷 明宏  
企画課企画調整係 森久 敬太
6. 傍聴者 庄原市議会議員 岡村 信吉 ・ 庄原市議会議員 近藤 久子  
庄原市議会議員 松浦 昇 ・ 山陽新聞東城支局 支局長 南山 晴雅
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第4回庄原市長期総合計画審議会専門部会（総務財政部会） 次第

平成27年10月19日（月）10：00～

庄原市役所 本庁5階 第1委員会室

1. 開会

2. 議事

- ・基本事項について 

資料3
-----
- ・基本構想について 

資料4
-----

資料6
-----

資料8
-----
- ・基本計画について 

資料5
-----

資料7
-----

3. その他

- ・次回審議会(全体部会)開催日(予定)について  
日時：平成27年11月10日(火) 14：00～  
場所：庄原市役所本庁舎5階 第1委員会室

4. 閉会

## 会議経過

### (1) 開会

### (2) 議事

#### ・基本事項について

事務局：（資料により事務局説明）

（意見なし）

#### ・基本構想について

事務局：（資料により事務局説明）

（将来像について）

委員：2案あるが、どちらでも良いのではないかと？

委員：共生に違和感があると思う。

委員：共生という言葉は、自然と共に生きるという感覚を持たせるため、あつた方が良いのではないかと？単純に里山文化都市とするよりも決意につながるように思う。

委員：里山文化という言葉は、聞く分にはさらっとしてよいが、他のまちにもありそうな印象を受ける。確かに庄原市は地域も広く、共生という言葉を入れる意味もわかる。

委員：どちらも良いように思う。お任せする。

委員：共生都市という言葉が曖昧。前からの将来像の継承で良いのではないかと？

委員：里山文化都市というフレーズが、市民向けなのか、市から外に向けてのための言葉なのかでずいぶんと違ってくる。市民にとって、庄原市の里山文化とは何であるか？先ほど言われたように耳ざわりがよいが、実態として里山文化とは何か

を考えた場合、共生都市のほうが、共にがんばって生きようと市民が捉えやすいのではないかと感じる。

委員：多数決で決めるものではない。市民憲章の内容や総合計画の目標等との整合性を考えながら検討してほしい。

事務局：意見を参考として検討させて頂く。

#### (目標人口について)

委員：目標人口については、妥当な数値として受け止めている。希望として、もっと高く設定してはどうかという意見も多いと思うが、庄原市の財政等も踏まえ、これから様々な施策を行っていく中で、それを実現できるだけの財政基盤はない。しかし、人口が減少することは寂しいので、推計人口に約3%プラスは妥当であり、今後の施策展開をしていく上でも、概ね良い数値ではないかと思う。

委員：ここまで調査され、意見等を踏まえているので、妥当な数値だと思う。

委員：妥当だと思う。他の部分との整合性がとれているのであれば問題ない。

委員：妥当だと思うが、市のトップの考え方や施策内容によっては、なんなく達成できる数値だと思うので、高めに設定してもよいのではないかとも思う。庄原市には良い所がたくさんあるので、もっとアピールすると人口を増やせるのではないかと思う。

委員：第1次の目標人口と比較すると現実的ではある。様々な計画の中で目標を掲げているが、計画の中で目標値が具現化、具体化されていない。計画には、目標値を掲げて達成していく形が必要ではないかと思う。政策を進めていく上で、見越している数値を併記すると納得するのではないか。計算だけで出された数値では能がないと思う。

事務局：目標値を決め、それを実現するためにどのような施策を講じていくかという考え方で出しているが、一方では、施策を講じることによって生まれる成果実績を積み上げて目標値を決める方法もある。

委員：個別計画を進める上では、望まれることを書いておいた方が良いと思う。

委員：隣の三次市も10年計画を作成すると思うが、定住施策等への取り組みに関しては、三次市よりももっと深刻に考えたほうが良いと思う。そのあたりが整合しなければ目標数値も高めには設定はできないのではないかと？三次市の一年後に併したため、後追いになっても仕方がないが、文章だけではどこが中心に取り組むのか見えにくいので、そのあたりに配慮してほしい。

事務局：内部での部署、所管等も含めた定住施策の強化が必要であるように思う。

委員：一番は検証することが大事だと思う。目標数値を達成した、できなかっただけではいけない。しっかりとした検証を行ってほしい。そこに至った経緯や理由が重要だと思う。

事務局：先ほど話に出た積み上げ方式について、確かに出産、青年層の帰郷やIターン、定年退職者の起業促進等、ターゲットを絞った施策は見えやすいため、目標数値を掲げた対応を今後とっていきたいと思う。定住施策は総合施策のため、子育ての環境や健康づくり等、将来庄原市を離れないような取り組みもあり、それらを全て積み上げて目標人口を出すことは難しいと思う。

委員：目標人口はこれで良いと思う。

#### (長期ビジョンについて)

委員：15頁の内容について、事実が述べられていると思うが、暗い話ばかりに思える。中高生アンケートにおける、子どもたちがふるさとをどう思っているのかといった結果をここに活用してはどうか？暗いことばかり記載するのではなく、子どもたちのそういった思いを郷土愛につなげていく展開にしていった方が良いのではないかと思う。

委員：(4)を変更すると良いのではないかと？

委員：アンケート結果では、自然に恵まれた良いふるさとであり、できればふるさとに住み続けたいという意見が多かったと思うので、それらを結びつける構成にする方が良いのではないかと？

委員：第5節の基本的視点の中で「”人口の減少”という・・・確認しなければなりません。」と表現してあり、問題ないと思う。

事務局：内部においても、刺激的に作られているとの声がある。言われたように、アンケート結果でわかる子どもたちの思いも大切にしないといけないという意見もあった。事前に会長にも相談したが、これは庄原で育った子どもたちの視点であり、I ターン等の庄原市出身ではない方の意見を含めた事実も必要ではないかと指摘があった。

委員：（２）の内容はよくわかった。自分自身も自然体験があったため、結局、庄原市にたどり着いた。（４）を読み、暮らし続けたい、帰りたいと思っている人はいらと思うので、受け入れるシステムがうまく機能すると良いし、思い入れが伝わってくる内容であると思う。

委員：「「ふるさとを愛する心」を培い、・・・」と後半にある文章を前に持つていくほうが、暗くならず良いのではないか？

委員：構成は今のままでよいと思う。

事務局：文章あるいは表現については、多少工夫させていただく。

委員：17 頁に交通網の内輪・外輪の円を基に、18 頁に具体的に外郭、内郭、補助幹線とあるが、灰塚ダムと神龍湖を結ぶ線が総領の生命線であるので、高光総領と神石町を通り 25 番へつながる道路は、一つの外郭道路だろうと思う。高光総領線を補助幹線道路として載せても良いのではないか？

事務局：確認して整理させていただく。

## ・基本計画について

事務局：（資料により事務局説明）

委員：2 頁の目標指標で、facebook のいいね！数とあるが、達成しようと思えば明日にでもできる数値であり目標指標としていれるべきものなのか？facebook を活用するのであれば、いくらでもやり方があると思うので、削除した方が良いのではないか？facebook を通して友達になるとサービスをするなどはどうか。

事務局：現在 600 となっているが、市からの情報を積極的に取り入れている市民がこれほどいるため、着実に増やそうと考えている。

委員：市民が facebook 上で半数以上の人と友達になった場合に申請してもらうなど、仕組みをつくる必要があるのではないか。今の指標であれば意味がない。

事務局：再検討する。

事務局：今回検討頂いているのが総合計画であり、個々の事案について詳しく分析や整理等はできない。そうした基本的な考えのもと、多くの分野では個別の計画をつくり、その中で現状や課題を整理していくというやり方をとっている。包括的には、今後もそうした計画行政を進めていきたい。そうした中、特にこの分野ではこのような項目を設定してはどうかという内容があれば、意見をいただきたい。

委員：6 頁の若者の定住促進に、②新規学校卒業者の定住促進とあるが、実際に市が企業訪問や就職を斡旋しているのか。

事務局：学校へは求人と職の紹介ではなく、“帰ろうや倶楽部”を通じて庄原に帰ってこようと意識づけの取り組みを行っており、その加入促進を学校へ願っている。企業訪問については行っていない。

事務局：この部分の表現は適切ではないかもしれない。具体的には、合同就職会等の開催をお願いする、企業から就職情報をいただき、“帰ろうや倶楽部”の会員等に情報提供する取り組みが必要である。

### (3) その他

・次回審議会(全体部会)開催日(予定)について

日時：平成 27 年 11 月 10 日(火) 14:00～

場所：庄原市役所本庁舎 5 階 第 1 委員会室

### (4) 閉会